



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 株式会社カチタス 上場取引所 東
 コード番号 8919 URL <https://katitas.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 健資
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 横田 和仁 TEL 03-5542-3882
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	75,470	13.3	9,026	18.6	8,858	18.9	5,924	18.2
2020年3月期第3四半期	66,599	8.8	7,612	5.5	7,451	5.6	5,014	4.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,924百万円 (18.2%) 2020年3月期第3四半期 5,014百万円 (4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	77.18	75.93
2020年3月期第3四半期	65.72	64.32

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(参考) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	調整後親会社株主に帰属する 四半期純利益		調整後1株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	円	%
2021年3月期第3四半期	5,954	18.8	77.57	18.0
2020年3月期第3四半期	5,014	—	65.72	—

(注1) 当社は、経営上の重要な指標として、調整後親会社株主に帰属する四半期純利益、調整後1株当たり四半期純利益を用いております。なお、各指標につきましては後述の「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項（サマリー情報の参考についてのご注意）」をご覧ください。

(注2) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年3月期第3四半期	55,620		26,663		47.7
2020年3月期	53,435		22,737		42.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 26,520百万円 2020年3月期 22,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2021年3月期	—	13.50	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	13.50	27.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割しておりますが、2020年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,206	0.3	10,128	0.1	9,896	0.0	6,691	28.9	87.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	78,650,640株	2020年3月期	78,650,640株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,752,199株	2020年3月期	1,943,572株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	76,767,575株	2020年3月期3Q	76,293,808株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期末平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(サマリー情報の参考についてのご注意)

- 調整後親会社株主に帰属する四半期純利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益＋アドバイザー費用＋消費税等差額－調整項目の税金等調整額
- 調整後1株当たり四半期純利益＝調整後親会社株主に帰属する四半期純利益÷期中平均株式数
- 調整後親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社グループが投資家にとって当社グループの業績を評価するために有用であると考えられる財務指標であります。当該財務指標は、非経常的損益項目（通常の営業活動の結果を示していると考えられない項目、あるいは競合他社に対する当社グループの業績を適切に示さない項目）の影響を除外しております。
- 調整後親会社株主に帰属する四半期純利益は、四半期純利益に影響を及ぼす項目の一部を除外しており、分析手段としては重要な制限があることから、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があります、その結果、有用性が減少する可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、2021年2月9日（火）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動は、停滞時期から、徐々に活動が再開するにつれ持ち直しが見られたものの、感染拡大が続いていることから、依然として景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループは、地方都市及び地方都市郊外の中低所得層を主な顧客層として「新築」「中古」「賃貸」に代わる「第四の選択肢」を提供することを目指し、商品化が難しい築古の戸建物件をリフォームして、物件に価値を足して販売しております。

このような状況の中、販売面においては、低価格で高品質の住宅への購買意欲は引き続き底堅く、新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅時間が増加したことから、住環境を改善したいというニーズが徐々に顕在化しております。それに伴い、2020年7月以降、販売物件に対するお客様からのお問合せ数(以下、「反響数」という。)や、リスト化している見込み顧客数が増加しており、販売は堅調に推移しております。また、物件見学会の完全予約制やヴァーチャル・ホーム・ステージングなどの取り組みを行い、3密を避ける開催方法などの工夫を継続的に行っております。

仕入面においては、新型コロナウイルス感染症の影響による2020年4月の緊急事態発令以降、県境を跨いだ移動が制限され、仕入前の物件訪問や所有者と面談するための介護施設、病院への直接訪問が困難となり、買取交渉がスムーズに進んでおりませんでした。しかし、仕入促進のためのYouTubeや地方紙への広告出稿により、買取査定を希望するお客様が増加し、2020年10月以降の仕入は前年を上回って推移いたしました。

利益面においては、長期在庫の販売も進捗したものの、大幅な値引きなどを行うことなく販売したことで、安定した売上総利益率を維持いたしました。また、販売費及び一般管理費は、今後の安定成長のための人材投資を行いながら、その他費用については引き続きコスト意識を高く持ち運営を行った結果、営業利益率は前年同四半期と比べて改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績については、販売件数は4,764件(前年同四半期比10.4%増)、売上高は75,470百万円(前年同四半期比13.3%増)、営業利益は9,026百万円(前年同四半期比18.6%増)、経常利益は8,858百万円(前年同四半期比18.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,924百万円(前年同四半期比18.2%増)となりました。

なお、当社グループは中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、53,700百万円となり、前連結会計年度末の51,346百万円から2,353百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が11,666百万円増加した一方、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が8,475百万円減少したことによります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、1,920百万円となり、前連結会計年度末の2,089百万円から168百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が30百万円増加した一方、無形固定資産が150百万円及び投資その他の資産が48百万円それぞれ減少したことによります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、9,941百万円となり、前連結会計年度末の11,336百万円から1,394百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が1,140百万円増加した一方、買掛金が319百万円、短期借入金が2,000百万円それぞれ減少したことによります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、19,015百万円となり、前連結会計年度末の19,361百万円から346百万円の減少となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が10百万円増加した一方、長期借入金が375百万円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、26,663百万円となり、前連結会計年度末の22,737百万円から3,926百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を5,924百万円計上した一方、剰余金の配当2,072百万円を行ったことによります。この結果、自己資本比率は47.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年5月11日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,137	20,804
販売用不動産	28,659	19,911
仕掛販売用不動産	11,851	12,124
未収還付法人税等	582	124
その他	1,117	737
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	51,346	53,700
固定資産		
有形固定資産	693	723
無形固定資産		
のれん	595	446
その他	30	28
無形固定資産合計	625	474
投資その他の資産		
その他	782	733
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	770	722
固定資産合計	2,089	1,920
資産合計	53,435	55,620
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,909	2,590
短期借入金	2,000	—
1年内返済予定の長期借入金	750	750
未払法人税等	1,779	2,919
未払消費税等	2,034	1,708
賞与引当金	113	48
工事保証引当金	256	231
訴訟損失引当金	1	2
その他	1,492	1,691
流動負債合計	11,336	9,941
固定負債		
長期借入金	19,250	18,875
役員退職慰労引当金	80	91
その他	31	49
固定負債合計	19,361	19,015
負債合計	30,698	28,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,778	3,778
資本剰余金	3,640	3,640
利益剰余金	16,154	19,957
自己株式	△950	△856
株主資本合計	22,623	26,520
新株予約権	113	142
純資産合計	22,737	26,663
負債純資産合計	53,435	55,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	66,599	75,470
売上原価	51,714	58,581
売上総利益	14,884	16,889
販売費及び一般管理費	7,271	7,862
営業利益	7,612	9,026
営業外収益		
受取手数料	7	5
受取保険金	2	3
受取割引料	—	7
受取賠償金	—	13
その他	11	9
営業外収益合計	21	38
営業外費用		
支払利息	140	164
その他	41	42
営業外費用合計	181	206
経常利益	7,451	8,858
特別利益		
固定資産売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
災害による損失	4	—
消費税等差額	—	45
特別損失合計	4	46
税金等調整前四半期純利益	7,454	8,812
法人税、住民税及び事業税	2,321	2,846
法人税等調整額	118	41
法人税等合計	2,440	2,887
四半期純利益	5,014	5,924
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,014	5,924

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,014	5,924
四半期包括利益	5,014	5,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,014	5,924

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは、中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは、中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。